

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立三郷工業技術高等学校)

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおして、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する
--------	--

重点目標	1 基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる 2 生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身につけさせる 3 開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> 教科指導において、「わかる授業の実践」を進めた結果、多くの生徒が授業内容を理解している。 <b>【課題】</b> 基礎学力が身に付いていない生徒が多く入学している。引き続き家庭での学習習慣をつけさせる指導と、基礎学力の向上、専門知識と技術の確実な習得を行い、生徒の自信を高める必要がある。	① 授業改善と指導力向上により、生徒の学習意欲を向上させる。  ② 資格取得や、各種コンテスト、大会への積極参加。	① ICTを活用した授業や学力向上を促す取り組みを積極的に行う。  ② 専門学科指導の追求と課題研究の充実。	① 教科・学科の横断的な学びを実施することで生徒の学力向上が見られ、同時に生徒の授業への積極参加が見られたか。 ② 一人一台端末の積極活用がされたか。  ① 工業科の授業で「授業内容が身に付いた」という生徒の割合が各学科80%以上か。 ② 課題研究の生徒満足度90%以上か。  ① 資格取得やコンテストなどに取り組む生徒が多くいたか。 ② アンケートにおいて、資格指導が充実しているとの回答が80%以上か。			
2	<b>【現状】</b> 生徒規範は守られている。大きな問題行動は見られない。進路指導も充実し、生徒の進路実現が達成されている。 <b>【課題】</b> 引き続き、社会人基礎力の育成を目指し、組織的な生徒指導、進路指導を通し、集団の一員としての自覚と責任を高め、進路実現につなげる必要がある。	① 社会人基礎力の育成を目指す生徒指導の推進。  ② 生徒の進路実現へ向けた指導。	① 生徒の「セルフマネジメント能力」を高める生徒指導の推進。  ② 自転車安全講習会を実施、ヘルメットの着用を呼びかける。  ① 大学コース、専門コースにおいて、特性を生かした指導を行う。 ② 三年間を見通したキャリア教育の実施。	① 基本的な生活習慣の確立、特に遅刻者数が減少したか。 ② 手帳を使った自己管理ができたか。  ① 講習会を実施できたか。安全指導を適切に行えたか。  ① コース選択の満足度が高い値を示したか。  ① 生徒自らの力で人生を考えることができるキャリア教育が行われたか。 ② インターシップの積極参加が行われたか。			
3	<b>【現状】</b> 本校の魅力を発信しきれていない。募集定員が割れている学科が多くある。 <b>【課題】</b> 本校の特色・魅力・成果を積極的に情報発信する機会を増やす必要がある。 外部連携を行いつつ、開かれた学校づくりに取り組む。	① 積極的に情報発信し説明会等を充実させ、志願者を増加させる。  ② 企業や地域、小中学校、各種機関等との連携強化。	① 本校の特色・魅力・成果について積極的に情報を発信し生徒募集につなげる。  ② 各種説明会や学校見学会、出前授業、体験入学等とおしたPR活動の実施。  ① 外部連携を積極的に行い、開かれた学校づくりを行う。	① 情報発信の機会を多く設ける。 ② 生徒募集において、各科志願倍率1.0倍を確保する。  ① 地元小中学校との連携回数の増加 ② 本校で行う各種広報行事における参加者数増加。  ① 様々な機会を捉え外部連携を行うことができたか。			

実施日	令和7年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	